

II-3-2. 目標とする人口規模

(1) 概要

人口規模は、地域づくりにおける最も基本となる要素であり、地域の発展度や成長度を代理する指標でもある。そこで、「将来の目標人口」の「現在の人口（平成4年）」に対する伸び率（以下、「目標人口増加率」という。）に着目して分析することにより、首長が目標とする人口規模についての意向を明らかにした。

大部分の自治体では、目標とする人口については、期待も込めながら増加することを望んでいる。地域別の特徴をみると、定住条件が悪く過疎化の進行する自治体では大幅な人口増加を望み、地方中枢中核都市、地方拠点都市等の自治体では、小幅の人口増加を希望する傾向がある。大都市圏の既成市街地では、人口集中化による過密の弊害もあることから、人口の増加を抑制しようとする自治体が東京特別区の都心周辺区部で見られるが、都心区部では定住人口の回復が重要な課題となっている。

(2) 全自治体の目標人口増加率

図表II-3-9によると、大部分の自治体が人口の増加を希望しており、人口減を希望する自治体はわずか2.5%にすぎない。人口増加の程度については、50%以上の増加を目標とする自治体は39.2%に達し、人口増を地域の発展のために必要な要素と考えていることがうかがえる。

(図表II-3-9) 目標人口増加率

(単位：%)

	100%以上	50%以上	40%以上	30%以上	20%以上	10%以上	0%以上	マイナス	無回答
全自治体	18.7	20.5	7.8	9.7	13.6	15.9	8.7	2.5	2.5

(※比率が20%以上の項目について網かけ、以下同様。)

(3) 人口規模別の目標人口増加率

目標人口増加率と人口規模との関係を図表II-3-10でみると、人口規模が小さい

(図表II-3-10) 人口規模別の目標人口増加率

(単位：%)

人口規模	100%以上	50%以上	40%以上	30%以上	20%以上	10%以上	0%以上	マイナス	無回答
30万人以上	1.6	4.8	7.9	12.7	19.0	20.6	22.2	4.8	6.3
10万人以上	6.7	13.3	5.8	10.8	15.0	31.7	9.2	2.5	5.0
5万人以上	9.8	35.5	7.7	9.8	12.0	17.5	6.6	0.5	0.5
1万人以上	17.0	17.5	8.5	10.5	16.3	18.1	9.4	1.2	1.6
1万人未満	23.9	22.4	7.6	8.4	11.4	11.7	7.8	3.8	3.2
全自治体	18.7	20.5	7.9	9.6	13.8	15.9	8.8	2.5	2.5

自治体ほど目標人口増加率を高く設定する傾向があり、特に目標人口の増加率を100%以上とする自治体ではその傾向が強い。

(4) 自己評価別の目標人口増加率

目標人口増加率と自己評価との関係を図表Ⅱ-3-11でみると、自己評価が低い自治体ほど目標人口増加率を高く設定する傾向が人口規模別の場合と同様に読みとれる。

(図表Ⅱ-3-11) 自己評価別の目標人口増加率

(単位：%)

自己評価	100%以上	50%以上	40%以上	30%以上	20%以上	10%以上	0%以上	マイナス	無回答
高い	13.8	19.4	9.5	10.1	14.4	19.5	9.1	1.6	2.5
ふつう	18.9	20.7	7.7	9.6	15.4	15.5	8.0	2.2	2.0
低い	24.8	21.8	5.9	9.7	8.6	11.7	9.9	4.3	3.2
全自治体	18.7	20.5	7.8	9.7	13.6	15.9	8.7	2.5	2.5

(5) 政策指定地域別の目標人口増加率

目標人口増加率と政策指定地域との関係を図表Ⅱ-3-12でみると、大都市圏の既成市街地では、目標人口増加率が10%未満である自治体と目標人口増加率をマイナスとする自治体がそれぞれ20%台に達しており、人口の安定またはむしろ減少することを望む自治体がかかなり存在する。人口の減少を掲げる自治体は、東京特別区では山手線の外側に位置する自治体がその中心であり、逆に定住人口の回復が重要な課題となっている都心区部では人口増を望む自治体が多い。

大都市圏の近郊整備区域や都市開発区域では、目標人口増加率を50%とするグループと目標人口増加率10%以上30%未満とするグループに2極化しているのが特徴的である。中山間地域や過疎地域ではかなり人口減が進行していることから、目標人口増加率を50%以上とする自治体が40%を超え、大幅な人口増を切実に考えていることがわかる。地方中枢中核都市や地方拠点都市の人口規模の大きな自治体では、現在の人口規模に対して特別な不満がないことから、小幅で安定した人口増加を指向している。

(図表Ⅱ-3-12) 政策指定地域別の目標人口増加率

(単位：%)

政策指定地域	100%以上	50%以上	40%以上	30%以上	20%以上	10%以上	0%以上	マイナス	無回答
大都市圏	16.5	21.1	6.6	11.3	15.8	18.5	6.8	1.6	1.8
既成市街地	0.0	0.0	0.0	7.1	14.3	14.3	25.0	21.4	17.9
近郊整備区域	16.9	21.1	7.5	10.9	17.3	16.9	6.8	1.5	1.1
都市開発区域	17.2	22.6	6.2	11.7	15.0	20.4	5.8	0.0	1.1
地方中枢中核都市	2.7	10.8	8.1	18.9	21.6	24.3	10.8	0.0	2.7
地方拠点都市	14.5	16.4	10.9	7.3	16.4	25.5	5.5	0.0	3.6
中山間地域	21.6	20.5	7.2	8.7	12.6	13.8	9.3	3.5	2.9
過疎地域	22.5	20.1	7.6	8.6	12.4	11.1	9.4	4.8	3.7
全自治体	18.7	20.5	7.9	9.6	13.8	15.9	8.8	2.5	2.5

目標とする人口規模のまとめ

- ① 大部分の自治体では人口の増加を希望しており、特に人口規模の小さい自治体や自己評価が低い自治体ほど、大幅な人口増を望んでいる。
- ② 大都市圏の既成市街地では、人口の過密現象を背景に人口の増加を抑制しようとする自治体が東京特別区の都心周辺区部で見られるが、都心区部では定住人口の回復が重要な課題であり、人口の増加を望む自治体が多くなっている。
- ③ 中山間地域、過疎地域では、定住条件が悪く過疎化が進行している小規模な自治体が多いことから、大幅な人口増を目標とする自治体が多い。
- ④ 地方中枢中核都市、地方拠点都市の人口規模の大きな自治体では、現在の人口規模に特別の不満を持っていないことから、小幅の安定した人口増加を望ましいと考えている。